

第13回 電気システムセキュリティ特別技術委員会
議事録（案）

日 時 : 平成26年 12月 12日 (金) 15時00分～16時45分

場 所 : 自動車会館 1階 会議室

出席者 : 大西委員長, 栗原副委員長, 石上様 (福永委員 (A 部門長) 代理), 徳田委員 (A 部門代表),
福井委員 (B 部門長), 遠藤様 (佐藤委員 (B 部門代表) 代理), 泉井委員 (C 部門代表),
大山委員 (D 部門長), 川上委員 (D 部門代表), 野田委員 (E 部門代表),
瀬戸委員 (2号委員), 餘利野委員 (2号委員), 芹澤委員 (2号委員), 奥村委員 (2号委員),
毛塚委員 (2号委員), 桂幹事 (敬称略), 以上16名

配付資料

- 資料13-0 第13回 電気システムセキュリティ特別技術委員会 議事次第
- 資料13-1 第12回 電気システムセキュリティ特別技術委員会 議事録（案）
- 資料13-2 電気システムセキュリティ特別技術委員会 委員名簿
- 資料13-3-1 「スマートグリッドにおける電磁的セキュリティ特別調査専門委員会」技術報告目次案
- 資料13-3-2 「安全・安心社会の電気エネルギーセキュリティ特別調査専門委員会」活動状況報告
- 資料13-3-3 「Cyber Physical Systems Security 特別調査専門委員会」第2回 議事録（案）
- 資料13-3-4 「社会インフラ用センサシステムセキュリティ特別調査専門委員会」設置趣意書
- 資料13-4 平成27年電気学会全国大会 シンポジウム

議事概要

1 開会挨拶

大西委員長より、開会にあたり挨拶があった。

2 前回議事録の確認

資料13-1に基づき、平成26年9月30日に開催された第12回委員会の議事録（案）について確認を行い、承認された。

3 特別調査専門委員会の設置について（報告）（D部門・E部門）

3-1 D部門（奥村委員）

「スマートグリッドのスマートファシリティ内における EMC 環境特別調査専門委員会」の設置が研究調査会議にて承認されたことが報告された。

3-2 E部門（毛塚委員）

「社会インフラ用センサシステムセキュリティ特別調査専門委員会」の設置が研究調査会議にて承認されたことが報告された。毛塚委員より資料13-3-4に基づいて設置趣意書の説明があり、調査内容について確認を行った。設置期間は平成26年11月から平成29年10月までの3年間。

4 特別調査専門委員会からの報告

4-1 「スマートグリッドにおける電磁的セキュリティ特別調査専門委員会」（瀬戸委員）

11月17日に第3回委員会を開催した。資料13-3-1に基づき、発行予定の技術報告の目次案について確認を行ったことが報告された。第4回委員会は2月9日に開催予定である。

（泉井委員）

項目順と委員会順に関係はあるのか。

(瀬戸委員)

並行して進めていく。

(福井委員)

スマートグリッドに対しての脆弱性について考察が入るのか。

(瀬戸委員)

IT 機器がどのような電磁波で誤動作するかということについて検討を進める予定である。

(泉井委員)

スマートグリッドは電力と ICT の融合なので、相互干渉があると良いと考える。

(栗原副委員長)

技術報告目次案の 4 番目に「情報セキュリティ」があるが、これは妨害を受ける方なのか？

(瀬戸委員)

妨害は効果があるかどうかを行うことに意味があるため、項目に含めている。

(芹澤委員)

技術報告目次案の 7 番目「測定システム」があるが、こちらはメインにはならないのか。

(徳田委員)

A 部門電磁環境技術委員会内の調査専門委員会（徳田委員が委員長）で対象とする内容となっている。

(泉井委員)

データはどこまで出すのか。

(瀬戸委員)

電力に応じてアンテナの利得はこれくらいだろうということは出していく。

(餘利野委員)

B 部門の委員会としては世間的な通説などで間違いがある部分を指摘していきたいと考えている。

4-2 「安全・安心の電気エネルギーセキュリティ特別調査専門委員会」（餘利野委員）

資料 1 3-3-2 に基づき、活動状況について報告があった。

平成 26 年 1 月 22 日に開催された第 6 回委員会、平成 26 年 9 月 17 日、1 月 6 日に開催された WG について報告があった。また、平成 26 年 1 月 22 日に第 4 回シンポジウムを開催した。

第 5 回シンポジウムを全国大会シンポジウムとして開催。外部講師として関西学院大学の野村宗訓教授を招いている。学会誌特集記事も検討している。

4-3 「Cyber Physical Systems Security 特別調査専門委員会」（芹澤委員）

資料 1 3-3-3 に基づき、活動状況について報告があった。平成 26 年 1 月 14 日に第 2 回委員会を開催した。IPA（独）情報処理推進機構）での取り組みについて紹介があった。

第 3 回シンポジウムを 1 月 30 日に開催予定。

(栗原副委員長)

セキュリティの動向紹介はどういうことか。

(芹澤委員)

脅威の動向と対策までの話について、シンポジウムなどで紹介を行う予定である。

(大西委員長)

制御系は時間管理が重要であると考えるが、対策についてはどのように行うのか。

(芹澤委員)

情報系については機密性が重要になる。制御系は停止できないため、対策の仕方にも制約がある。組み込みシステムでは対策のリソースがあまり取れないため、リスクについても示していく。

4-4 「スマートグリッドのスマートファシリティ内における EMC 環境特別調査専門委員会」(奥村委員)

11月11日に第1回委員会、12月8日に第2回委員会を開催した。5つの分野に分けて調査内容について検討を進めており、それぞれの専門家にレポートを依頼中である。

11月22日に(独)労働安全衛生総合研究所清瀬地区への見学会を実施した。

(川上委員)

他部門からの委員について、A部門から委員の参画を頂いているが、他の部門からも委員の推薦を頂きたい。

4-5 「社会インフラ用センサシステムセキュリティ特別調査専門委員会」(毛塚委員)

運用上副委員長を置くことについて申し出があり、承認された。

5 平成27年全国大会シンポジウムについて

資料13-4に基づいて平成27年全国大会シンポジウム「電気システムセキュリティの未来」について確認を行った。開催日時は平成27年3月24日午前中(3時間)である。続けて午後(4時間)に「安全・安心の電気エネルギーセキュリティ特別調査専門委員会」提案のシンポジウム「安全・安心社会の電気エネルギーシステムを考える」が開催される。

6 その他

大西委員長より、全国大会シンポジウム終了後の来年3月末をもって委員長を栗原副委員長に交代することが提案され、承認された。

以上

次回開催：第14回 委員会：平成27年 3月 24日(火)

全国大会シンポジウム終了後 11:45~12:45

東京都市大学 1号館3階13A講義室